

浙江省 2015 年 4 月高等教育自学考试

日本文学选读试题

课程代码:00612

请考生按规定用笔将所有试题的答案涂、写在答题纸上。

选择题部分

注意事项:

1. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。

2. 每小题选出答案后,用 2B 铅笔把答题纸上对应题目的答案标号涂黑。如需改动,用橡皮擦干净后,再选涂其他答案标号。不能答在试题卷上。

一、次の文章を読んで、次の問に答えなさい。(24% 2×12)

文章 1

友情と恋愛と並んで、僕らの感情生活に大きな地位を占める要素です。

まず始に、その似たところを考えると、この二つは親子兄弟のような血縁と違って、本質的に他人どうしの邂逅から生まれるもので、(1) その底には選択と自由意志とがまず前提されています。だからそれは多少にかかわらず独立した人格と反省とを前提としているので、例えば、子供同士の間には、恋愛はもちろん、本当の友情もないわけです。子供は環境が変われば遊び友達もすぐ変わります。そして僕らの小学校時代の同級生などは、その後何かの交渉が続かなければ、名前も顔も忘れてしまうのが普通です。

次にこの二つの人間関係には、自然より僕らの意志が多く働いている(2)、永続するよりも、むしろ一時的なのが普通です。生涯変わらぬ友情や恋愛がむしろ幸福な例外でしょう。

1、「邂逅」の意味はどれか。

- A 思いがけない出会い B 自然に付き合うこと
C 何度も会うこと D 誤解すること

2、(1)の所に適当な言葉を入れなさい。

- A しかし B ところで C ですから D したがって

3、(2)の所に適当な言葉を入れなさい。

A なのに B だけに C にしても D にしたがって

4、文章と合っている内容はどれか

- A 恋愛は僕らにとって重要ですが、友情はあまり大切ではない。
- B 子供の間にも、本当の恋愛と友情がある。
- C だれでも一生変わらない友情と恋愛を持っている。
- D 恋愛と友情は独立した人格と反省とを前提としている。

文章2

もう (1) 人の気配もなくなった大覚寺の門前を通り過ぎ、大沢池のほとりへ出ると、ここにはまだ、月見の人があちこちにたたずんでいた。あんまり着馴れていない和服を窮屈そうに着て、赤ん坊を夫に抱かせた若い人妻が、丸い顔に月の光を受け (2)、一心に空を見上げているのがほほ笑ましく美しい眺めだった。月が上がりすぎ、池には映っていないが、池の面は月光にきらめき、遍照寺山がくっきりと影を落としている。もうボートの客は帰ってしまっていて、池は月光だけがわたっているのが森閑として、やはり嵯峨の月夜だと思う。

嵐山に廻ると、ここにもまだ月見の客が残っていた。

5、これは名作『月夜』の一段である。『月夜』の作者はどれか。

A 瀬戸内晴美 B 田村俊子 C 東山魁夷 D 井上靖

6、(1)の所に適当な言葉を入れなさい。

A さっぱり B しっかりと C すっかり D しっかりと

7、(2)の所に適当な言葉を入れなさい。

A なのに B だけに C ながら D まま

8、この文章に描いているところは次のどこなのか。

A 横浜 B 京都 C 東京 D 広島

文章3

つれづれ (1)、日暮らし硯に向かひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかたなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。……

神無月のころ、栗栖野といふ所を過ぎて、ある山里に尋ね入る事侍りしに、遙かなる苔の細道を踏みわけて、心細く住みなしたる庵あり。木の葉に埋もるるかけひのしづくならでは、つゆおとなふ物なし。関伽棚に菊・紅葉など

折り散らしたる、さすがに住む人のあればなるべし。

かくてもあられけるよと、あはれに見るほどに、かなたの庭に大きな
柑子の木の、枝もたわわになりたるが、まはりをきびしく囲ひたりしこそ、
少しことさめて、この木なからましかばと覚えしか。

9、これは鎌倉時代の有名な随筆である。この随筆の作者がだれか。

A 鴨長明 B 兼好法師 C 清少納言 D 松尾芭蕉

10、(1)に入れる言葉は何か

A なるままに B ときに C することもなく D ありけり

11、「神無月のころ」の意味はどれか。

A 晩秋の陰暦九月のころ
B 初冬の陰暦十月のころ
C 初冬の陰暦九月のころ
D 仲冬の陰暦十一月のころ

12、「つゆおとなふ物なし」の意味はどれか。

A 朝露の音以外には何も聞こえない
B 露に濡れて訪ねてくる人物もない
C まったく音を立てるものはない
D まったく大人しい人物に違いない

非选择题部分

注意事項：

用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上,不能答在试题卷上。

二、次の傍線部の漢字をひらがなで書きなさい。(10% 1×10)

13、人生の旅の中には、いくつかの岐路がある。()

14、私は思わず立ち止まって凝視した。()

15、今日で最後だという悲愴な気持ちが薄れた。()

16、鳴る鐘の音よりは余韻そのものを楽しむといった趣がある。()

17、彫刻におけるトルソーの美学などに近づこうとする。()

18、蛇口の下で水の柱が揺れていた。()

- 19、思いを新たにする覚悟で、私は旅に出た。()
- 20、一人の下人が羅生門の下で雨やみを待っていた。()
- 21、或る日、Kから散歩に誘われて、恋の進退について相談される。()
- 22、月日は百代の過客にして。()

三、次の傍線部の仮名を漢字で書きなさい。(10% 1×10)

- 23、どんな苦境もこくふくしていこう。()
- 24、大晦日はしょさいの片づけか何かで済んだ。()
- 25、いちりんの花にも美しい姿がある。()
- 26、恵子の論法の方は庄子より理路せいぜんとしている。()
- 27、その黒い髪には目立つほどぎんいろの白髪が混じっていた。()
- 28、もう少しのしんぼうよ。我慢するんですよ。()
- 29、男は次第にゆうべんになっていた。()
- 30、自分の部屋は二階で、わりと静かなざしきだった。()
- 31、その酒宴はようきを越えてばか騒ぎになっていくらしい。()
- 32、それにどうじょうを寄せているようにみえてならない。()

四、穴埋め (10% 1×10)

- 33、()は後鳥羽上皇の命のもとに、元久二年に()、藤原家隆、藤原有家、藤原雅経、源通具らが選んだ和歌集である。
- 34、『城の崎にて』とは()の作品である。彼の代表作品には、他にも()がある。彼が属している流派は()と言われている。

35、日本で文学ノーベル賞をもらったのは（ ）と（ ）である。しかし、日本初のノーベル賞を受けたのは（ ）である。彼がもらったのは物理ノーベル賞である。

36、（ ）は日本近代文学の巨峰と言われている。彼の代表作品は『吾輩は猫である』、（ ）などがある。

五、次の内容を簡単に解釈しなさい。(20% 5×4)

37、『奥の細道』

38、『羅生門』

39、太宰治

40、野坂昭如

六、論述 (26% 13×2)

41、「古池や蛙飛びこむ水の音」という俳句を例にして俳句の特徴を述べなさい。それに江戸時代の三大俳人とその代表作をあげなさい。

42、桑原武夫の『なぜ文学は人生に必要なのか』の観点を踏みながら、文学はあなたにとってどういう存在なのかについて自分の意見を述べなさい。